

報告事項ス

鳥取環境大学との包括協定の締結について

鳥取環境大学と鳥取県教育委員会との連携協定の締結及び協定に基づく意見交換会について別紙のとおり報告します。

平成24年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

鳥取環境大学と鳥取県教育委員会との連携協定の締結及び 協定に基づく意見交換会の概要について

教育総務課

【協定締結】

- | | |
|---------|--|
| 1 協定の名称 | 鳥取環境大学と鳥取県教育委員会との連携協力に関する協定 |
| 2 締結者 | 鳥取環境大学学長、鳥取県教育委員会教育長 |
| 3 締結日時 | 平成24年11月7日（水） |
| 4 場 所 | 鳥取環境大学大会議室 |
| 5 内 容 | 鳥取環境大学及び鳥取県の教育の充実発展のため、両者が相互の機能を活用して実践的な連携協力を行うことを定める。 |



*協定に定める連携協力事項

- ・教職員の資質・能力の向上に関すること。
- ・学生、生徒、児童等の教育支援及び社会貢献活動に関すること。
- ・学校教育及び社会教育における諸課題への対応に関すること。
- ・その他学校教育等に関し必要と認められる事項に関すること。

6 挨拶要旨

○鳥取環境大学古澤学長

- ・公立大学として新たに出発し、半年が経過。公立大学として“初”となるAO入試では、11.5倍と多くの志願を得て、25年度入試はまずは順調なスタートを切った。
- ・「地域に貢献する大学」として、特に県内における教育活動に関する事柄について、県教育委員会と相互の機能を活用しながら、より実践的な連携を図ることが求められる。

●鳥取県教育委員会横濱教育長

- ・子どもたちの学びを作っていくには、一定の学習理論に基づくしっかりとした指導が必要。教職課程を持つ環境大学と教育の資質向上に向けて連携を深めていきたい。
- ・理科好きな先生を作ってください、その先生を通して理科好き・算数好きな子ども、モノを作る・考えることが好きな子どもが育つことを期待。
- ・英語村が開設され、この夏には小中高校生に様々な機会を与えていただいた。そこに参加した子ども達の満足度は、我々が想像した以上にはるかに高かった。
- ・教職の面、またこのような施設活用の面など色々な可能性があると思っている。今後連携を深めたいと考えており、よろしくお願ひしたい。

【意見交換会】

- | | |
|---------|---|
| 1 会議の名称 | 鳥取環境大学と鳥取県教育委員会との意見交換会 |
| 2 日 時 | 平成24年11月7日（水）午後1時35分～2時50分 |
| 3 場 所 | 鳥取環境大学大会議室 |
| 4 参加者 | 鳥取環境大学：学長、副理事長、副学長 他 計12名
県教育委員会：教育長、教育次長、参事監 他 計10名 |
| 5 会議の概要 | 協議題：「鳥取環境大学と鳥取県教育委員会の連携について」
主な発言（○；鳥取環境大学、●；県教委） |

【教職課程の設置】

- 教職志望者（1年生）は、53名。ほぼ全てが、高校と中学校の免許を希望。
- 教職課程の設置に当たり、特別支援学校での介護等体験及び教育実習について、県東部を中心として協力をお願いしたい。
- 介護等体験は、9月だけで受入れるのはなかなか難しい。期間に幅を持たせるとか、県中部も含めるなどを考えていただきながら、希望に添えるように調整を図りたい。
教育実習の多くは、大学3年生の秋に高校・中学校に申込みをして、学校側が調整するシステム。この辺りの調整をまたご相談させていただければと思う。
- 以前に各学校の教務課にて「実習生の出身校だけでの受入れとする」ように教務規程を改正しようとの動きがあったと思うが、現状はどうか。
- そのような学校があるとは承知していない。受入依頼があれば、対応している。ただ、同じ時期に4~5人も実習生を指導することはまず不可能であり、調整が必要。

【教員免許更新講習】

- 教員免許更新講習を、平成25年度から実施予定。日程や内容等について要望をお聞きしたい。実施の際には、是非、県内の教員への周知と受講の働きかけをお願いしたい。
- 例えば「子どもの社会性の発達」みたいな講座があれば良い。
○臨床心理士でスーパーバイザーの資格を持つ講師もおり、検討したい。また、環境教育に関するものは是非進めていきたい。
- 教員免許更新講習の件で、「夏季休業中に短期間（1週間程度）でコンパクトに受講できる」という案をお示しさせていただいたが、まとめて5日間はスケジュール的に厳しいとの声も聞く。その辺りのニーズや受講実績を聞いていただければ有難い。
- 持ち帰り検討

【学校支援】

- 環境教育などで学生や先生方に小学校に出で
いただいており、感謝。このような「環境教育
の大切さ」や「理科教育の面白さ」といったも
のを、是非広げていただきたい。
- 中学校は非常に多忙であるとのことで、放課
後前の時間なども利用させていただくと良いと
思う。要望いただければ企画するので、教えていただきたい。
- 学生教育ボランティア制度について、学生の活動情報の共有と、学生にも学校現場にも
使い勝手が良く、メリットがあるような制度にしたい。
- 今年前期には数名の学生が参加。ただ、県と市の制度に違い（交通費等の経済的支援
の有無等）があり、学生達が少々混乱したことがあった。
大学の授業を優先し、授業が無い時間帯に参加しているが、出来るだけ現場を体験しな
がら、子ども達と触れ合って教職を目指して欲しい。
- 英語村を活用した児童・生徒の体験学習では、非常に満足度が高かった。来年度も実施
させていただきたいと考えているので、引き続きご協力をお願いしたい。
- 西部サテライトキャンパスでの英語村を希望する声はかなりある。今後西部で「英語漬
け」に出来るような環境を作る構想があるのか。
- 今後は場所も広げ、スタッフも充実させ、内容もグレードアップさせて行きたい。ま
た、今年は12月にクリスマスイベントを西部サテライトキャンパスで実施する。あまり
急がず、しかし着実に広げていきたい。

